

病院紹介

島田市唯一の病院として地域医療に貢献する

市立島田市民病院
病院事業管理者 服部 隆一



病院の理念と基本方針

当院は、島田市唯一の病院として、理念「地域医療に貢献する」、基本方針1. 質の高い医療を実践する、2. 地域の医療、保健・福祉機関と連携する、3. 患者の権利を尊重し、医の倫理を遵守する、4. 優れた医療人を育成する、5. 健全経営を行う、を掲げています。基本方針を覚えやすいよう短くし、これらを朝礼時や会議前に唱和し、各自が意識するよう努めています。



病院の全景

職員の育成

人材を人財に変えるため、職種に限らず、外部の研修会や講演会への積極的な参加を促しています。医療安全に求められる職員間の良好な情報伝達を図るため、全職種を対象にTeam STEPPSの研修会を継続的に開催しています。購買監査への参加等により多くの職員にコスト意識



病院総務課の朝礼時、理念、基本方針の唱和



Team STEPPSの院内研修会
(チームで共同作業中、立っているのは観察・記録者)



インターネットを利用した症例検討会



左：病院ウェブサイトの更新作業、右：救急車搬送患者データ入力

が浸透してきました。また、若手医師（自立を促すため、1年目から正規職員として雇用）の症例検討会では、インターネットを利用して、外部の講師に指導していただきました。

救急統計も含めて積極的な情報発信

病院ウェブサイト（業者に依頼せず、すべて職員の手作り）にて多くの情報を発信しています。これにより、見られているので、しっかり業務を行うという意識が職員に芽生えています（日本病院会の学会と会誌で発表）。年間4000名前後の救急車搬送患者の統計も載せており、年度が変わると直ちに更新しています。2014年度、ついに75歳以上の救急車搬送患者が過半数を超え（肺炎、脳梗塞、心不全、大腿骨頸部骨折などが多い）、高齢化とともに急性期医療の様相が少しずつ変わると予想しています。

市民ふれあい講座の開催

待ち時間を有効活用するため、定期的に待合ロビーにて、患者さんを対象とした市民ふれあい講座を開催しています。いろいろな職種が講師を担当し、専門を活かしたテーマで講演しています。患者さんは熱心に聴講してくれ、待合ロビーの雰囲気明るくなりました。

新病院の建設

当院が現在地に移転してから36年が経過し、耐震性や施設設備の老朽化などの課題を解決するため、2020年度中の開院を目指して現地建替えて新病院建設計画を進めています。既に基本計画がまとまり【病床数536⇒445（急性期405、回復期40）へ削減】、2016年度に基本設計に着手します。



転倒予防をテーマにした市民ふれあい講座